

アジャイルQAの現場より

実践事例と課題へのアプローチ



Human Crest

株式会社ヒューマンクレスト
技術推進本部 磯部朋子

本日、持ち帰って欲しいこと

アジャイルQAの必要性

現場は千差万別

小さなステップを繰り返す

自己紹介と会社紹介

アジャイルQAの必要性

事例紹介

多国籍企業での開発とテストの改善

成長中のSaaSの開発プロセス改善

スタートアップのQA体制立ち上げ

まとめ

質疑応答

自己紹介

好き！

名前 磯部朋子

所属 株式会社ヒューマンクレスト
技術推進本部

略歴 1998年～ コールセンター勤務
2007年～ 医療機器メーカーの品質保証部門勤務
2014年～ ヒューマンクレスト入社

業務 テストマネジメント
テストコンサルティング
自動テストコンサルティング
テストエンジニア教育

取得資格 JSTQB Foundation Level
JSTQB Advanced Level Test Manager
JSTQB Advanced Level Test Analyst
Certified ScrumMaster®
初級ソフトウェア品質技術者

アーティスト 谷山浩子

YouTubeチャンネル

QuizKnock
匿名ラジオ
ゆる言語学ラジオ

小説家 小川一水
有川ひろ
小野不由美



ヒューマンクレストとは

Human Crest

"ちゃんとうごかす"をサービスする会社です

会社概要

会社名 株式会社ヒューマンクレスト

役員 代表取締役：渡辺 義孝

取締役：宮本 由布樹

取締役：浅黄 友隆

監査役：小滝 敏郎（税理士）

設立 2002年（平成14年）12月16日

資本金 5,150万円

社員数 174名（2025年1月現在）※グループ連結

事業内容

- ソフトウェアQAコンサルティングサービス事業
- ソフトウェアQAマネジメントサービス事業
- ソフトウェアQAエンジニアリングサービス事業
- ソフトウェアテストサービス事業
- アジャイルテストサービス事業
- セキュリティ脆弱性診断事業
- 負荷テスト・性能テスト事業
- リグレッションテスト自動化サービス「Lynx」
- APIテストクラウドサービス「RakAPIT」
- テスト自動化エンジニアリング

認証資格 ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）

認証登録番号 IS 697634



IS 697634 / ISO 27001

派遣許可番号 派14-301985

所在地 横浜本社

〒220-8126

神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1

横浜ランドマークタワー 26階



ヒューマンクレストグループ



Japan Quality Co., Ltd.／

DADラボ（海外検証拠点）

ベトナム ダナン

16F, Da Nang Software Park,
02 Quang Trung, Thach Thang Ward,
Hai Chau District, Da Nang, VIETNAM



ARRANGILITY SDN. BHD.

マレーシア サイバージャヤ

Unit LG-02 & LG-03, Ground Floor,
CoPlace 5 Block 3710, Persiaran APEC,
Cyber 8, 63000 Cyberjaya, Selangor
Darul Ehsan, MALAYSIA



ベトナム ダナンで
「日本の味」が恋し
くなったら

アジャイルQAの必要性

アジャイル開発チームにQAは必要なのか？

アジャイル開発チームにQA
はいらない？

アジャイル・ソフトウェ
ア・マニュフェストにQA
に関する言及なし

スクラムにQAという
役割はなし

必要です!!

専門性

柔軟性

アジャイルQAの専門性

テストや品質に関する広範な知識と、
それを実際に適用できる技術

開発者がこれらの専門性を
有することも不可能ではな
いが、現実的には難しい

最新情報の
キャッチアップも大変

テスト技法

- 同値分割
- 境界値
- ディシジョンテーブル
- ペアワイズ
- 直交表
- 状態遷移表

品質の技法

- メトリクス
- モデル化
- レビュー
- 信頼性予測

体系・規格・標準

- SQuBok
- ISTQB
- ISO 9000
- ISO/IEC 25000シリーズ (SQuaRE)
- ISO/IEC/IEEE 29119シリーズ

アジャイルQAの柔軟性

現場の状況やメンバーに合わせて、柔軟にコミュニケーションし行動する

ステークホルダーの信頼を得る振る舞いが必要

企画者や開発者とは別の視点を持つ

人が発言し行動することの意味

プロダクト

- AI
- IoT
- Web
- 組み込み

規模

業種

- 教育
- 製造
- 採用
- 医療

開発プロセスモデル

- ウォーターフォール
- かんばん
- スクラム

フェーズ

- 新規開発
- 規模拡大中
- 追加開発
- カスタマイズ
- 維持

事例紹介

事例1) 多国籍企業での開発とテストの改善

プロダクト

- ハードウェアメーカー
- 20カ国以上に拠点
- 機器からのデータを集約するクラウドダッシュボード
- 利用は全世界
- UIは英語

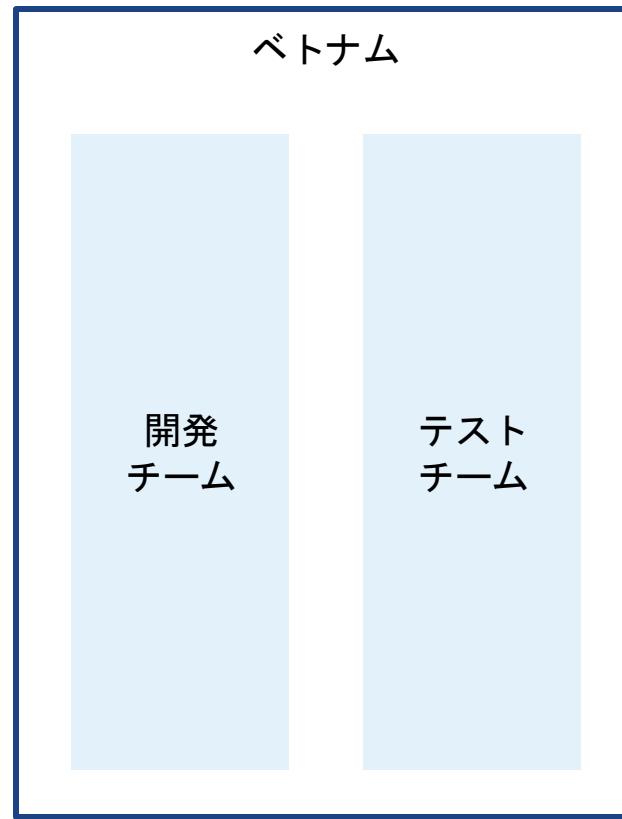
開発チーム

- スクラム開発
- 1スプリント2week
- テストコードあり
- チームが各国に点在
- コミュニケーションする言語が異なる複数のチーム

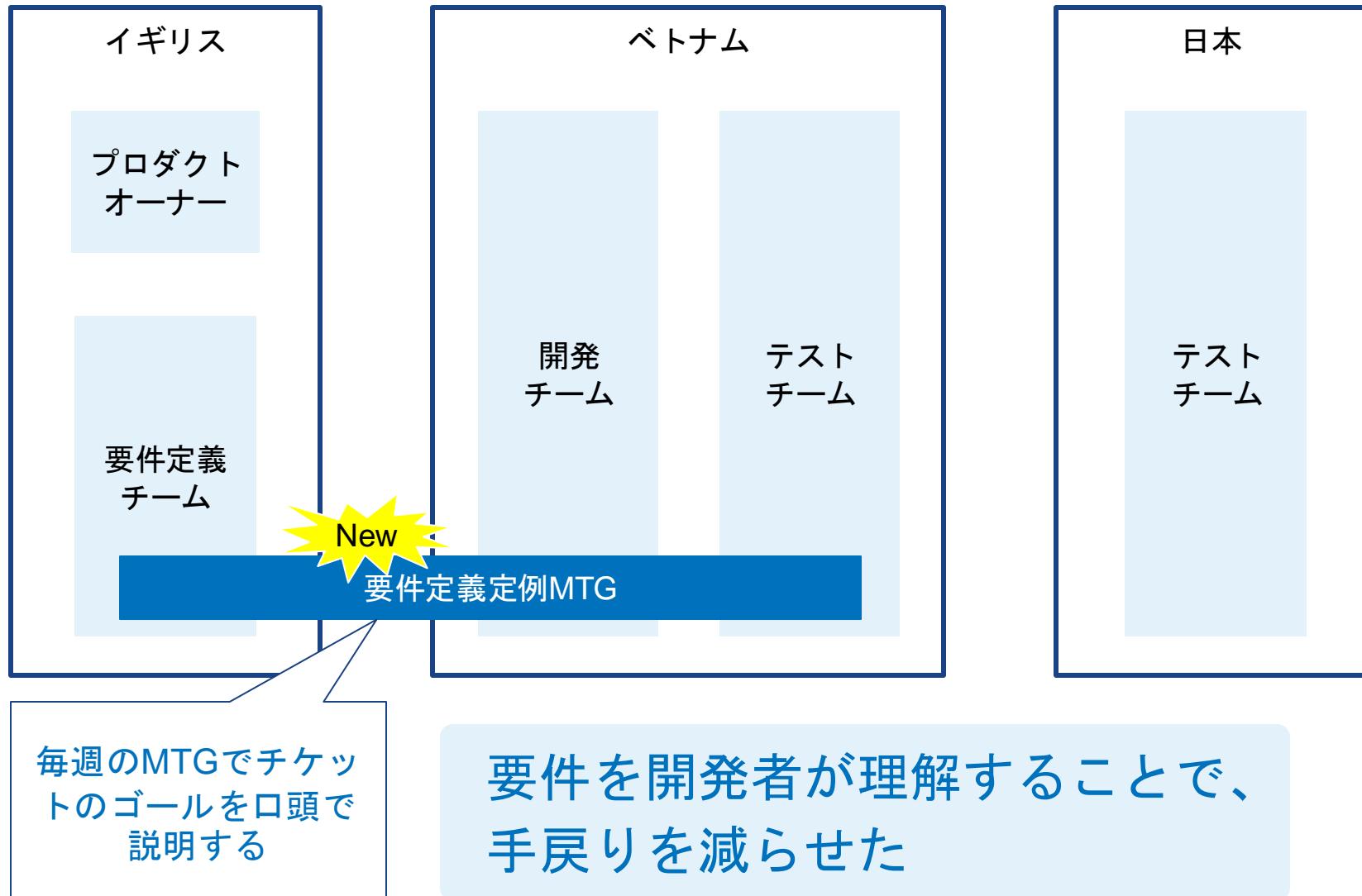
課題と期待

- バグが多い
- ベトナムチームのテストで見逃しが多い
- チケットの各工程での滞留時間が長い
- 自動テストをうまく保守できていない

対策) コミュニケーションの改善



対策) コミュニケーションの改善



事例2) 成長中のSaaSの開発プロセス改善

プロダクト

- Web系ベンチャーの第2サービス
- SaaSのBIツール
- 導入100社以上
- サービス開始から数年経過

開発チーム

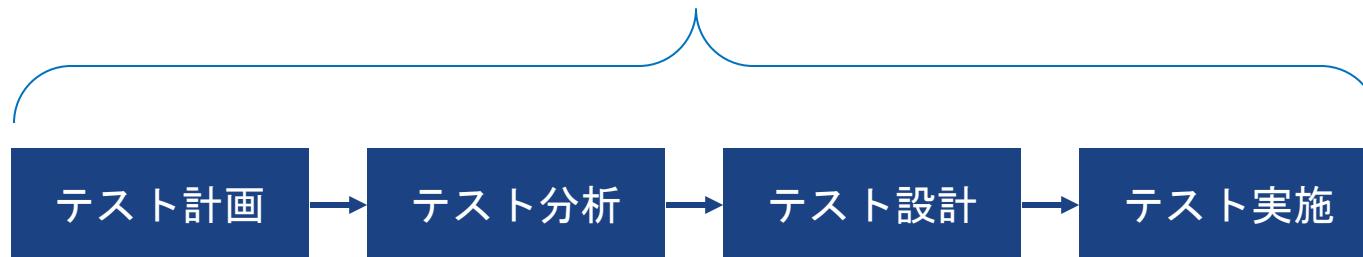
- 10人規模 × 4チーム
- インクリメント開発
- チームによってはスクラム導入
- 1スプリント1week
- テストコードあり
- QAに馴染みはない

課題と期待

- QAチームの立ち上げ
- PM、エンジニア、デザイナーを巻き込んで、チームで品質保証ができる仕組み作り

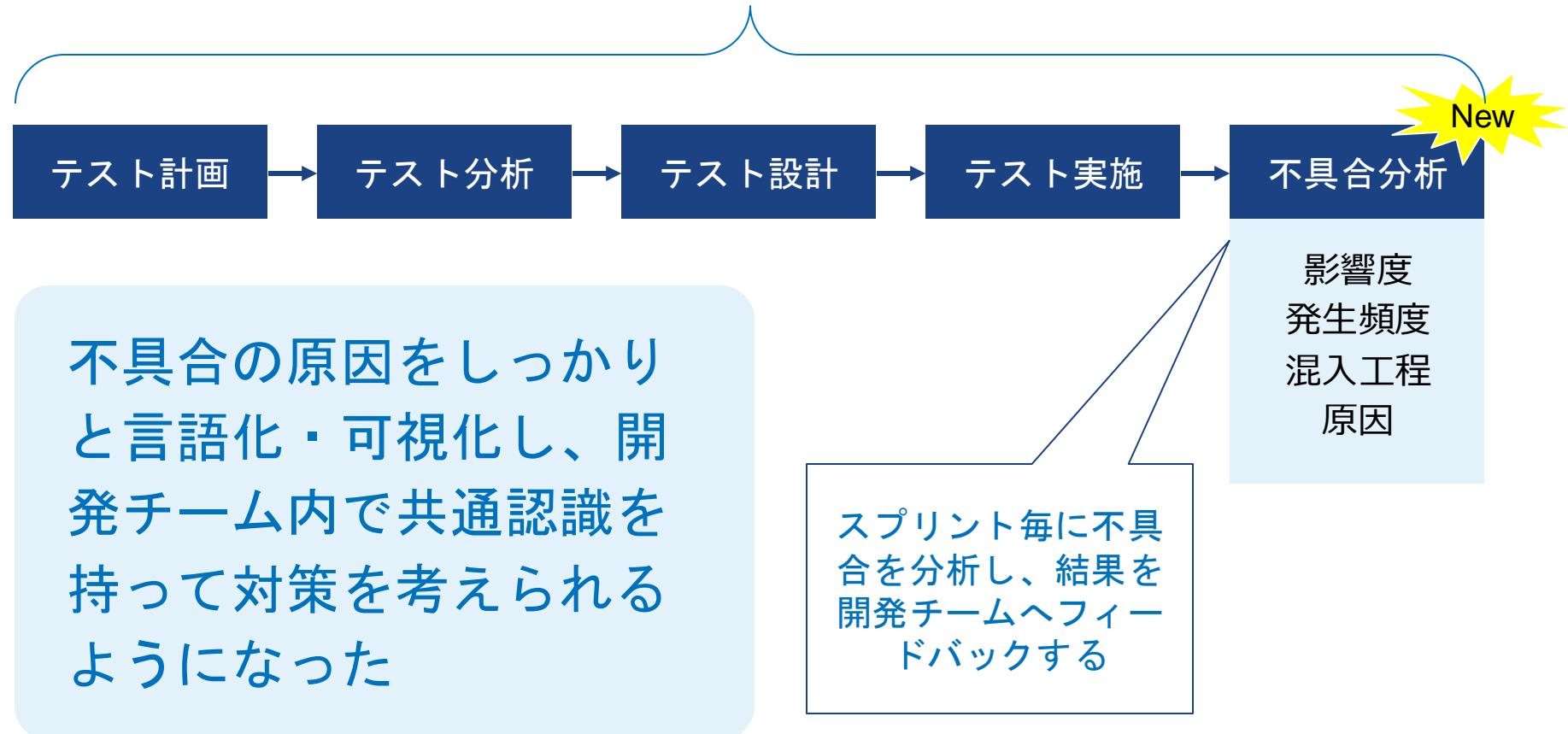
対策) 不具合分析と開発へのフィードバック

インプロセスQAを配置
スプリント内でテスト活動



対策) 不具合分析と開発へのフィードバック

インプロセスQAを配置
スプリント内でテスト活動



事例3) スタートアップのQA体制立ち上げ

プロダクト

- モバイルオーダーシステム
- メガベンチャーにて新たに立ち上げた、社内スタートアップ
- 試験導入3店舗
- 数ヶ月後にはプレスリリースが迫る

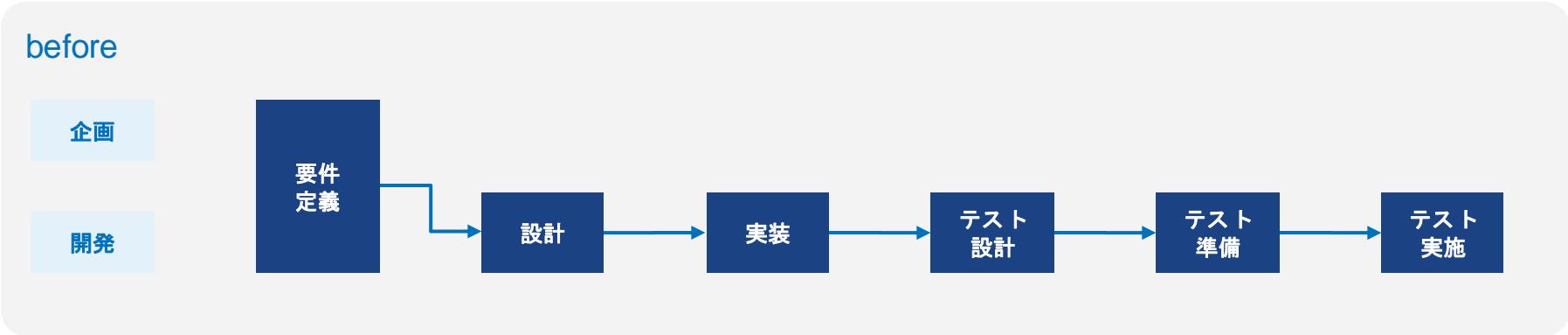
開発チーム

- 10人規模
- 週1回リリース
- インクリメンタル開発
- テストコードあり
- 手動テストのプロセスは曖昧
- QAに馴染みがない
- バグは多くはないがゼロでもない

課題と期待

- どんなテストをどこまですれば良いのか自信がない
- このまま正式リリースし、規模を拡大していくって大丈夫かという不安を解消したい

対策) テスト活動をシフトレフト

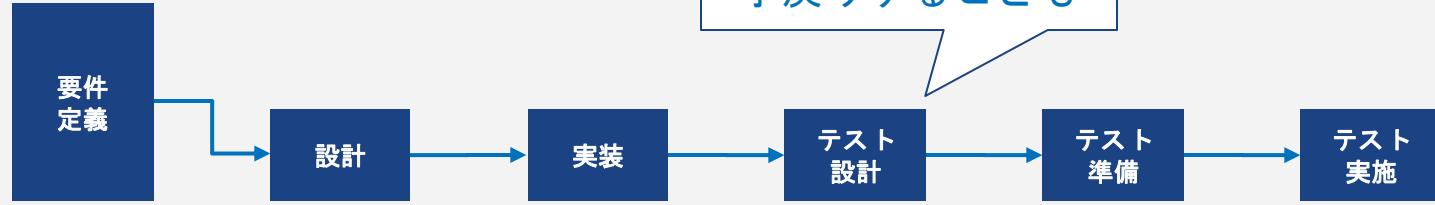


対策) テスト活動をシフトレフト

before

企画

開発



after

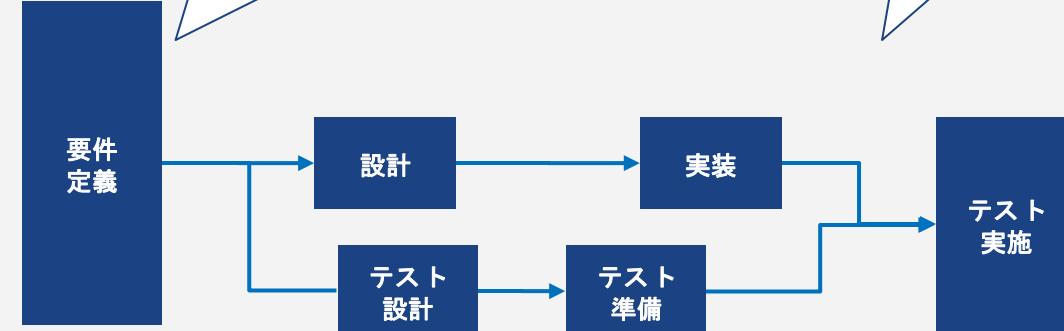
企画

開発

QA

仕様バグを指摘

工期短縮



まとめ

アジャイルQAの必要性

専門性と柔軟性をもったQAは、品質向上と開発生産性向上に効く

現場は千差万別

教科書通りにすべてをあてはめようとしても上手くいかない
まず困りごとを見つけて協力の姿勢を見せることが大切

小さな一歩を大切に

銀の弾丸はないけれど、少しずつでも改善していくことで必ず良くなる

質疑応答

ご清聴ありがとうございました



アンケートにご協力をお願いいたします